

## 木曜の男



佐々木氏



— 33 —

以前から、仕事休みの月曜日に、自宅からそう遠くない海沿いにある日帰り温泉を夫婦で楽しんでいる。いかにも効用がありそうな茶褐色の湯に加えて、サウナと広い水風呂が併設されている点も気に入っていて、震災前からこれ二十年通い続けている。風呂前に、途中にある和食屋でランチをとるのも変わらない習慣である。一見ぶっきらぼうな、しかし実は腕のいい店主と、きびきびとしたスタッフの醸し出す雰囲気心地よく、なにより魚料理がまい。本当は店名を吹聴したいのだが、それでもともラUNCH時には混んでいるので、ヒントのみでご容赦願いたい。いわき市の隣町、国道6号沿い。

先日その和食屋に週の半ばに入店、食事を終えて会計を済ませようとしたところ、「いつも月曜なのに、今日は珍しいですね」と言われた。こうした体験は重なるものなのか、食事後に温泉施設に行きたところ、ここでもスタッフに同じことを言われた。その一週間後、宇都宮で定宿にしているホテルにて。普段私は、宇都宮で火水と仕事をすることが多いことから、よく火曜日にホテルに宿泊する。この週はまたまた土曜日が展覧会のレセプションだったことから、金曜日にチェックインした。するとフロントでも駐車場でも、またまた「珍しいですね」。G・K・チェスタトンにヴィクトリア朝ロンドンを舞台に

した『木曜の男』（一九〇八年）という奇妙な小説があるが、倣って言えばさしずめ私（たち）は「月曜の夫婦」、あるいは「火曜の男」か。

### 殻を破ってこそ

習慣を繰り返し、周囲にもそう見られて日々を過ごす。

人は習慣の動物であるという。起床・就寝の時間、体力維持のためのルーティーン、靴下は右足から履くのか左足からか、食事では最初に何を食べる（飲む）のか、そして月曜のランチと温泉、火曜の宿泊：確かに人は、そう意識して作ったわけではなくともいつのまにか自ずと定着した

習慣が育む安定と安心——そのこと自体否定されるべきものではないが、その一方で、習慣は情性にもつながる。情性は殻の内側に閉じこもって腐熟することであり、精神的な老いである。かつて野獸派の画家たちやピカソが発明した斬新な表現を自ら捨てて新しい地平を開拓していったのは、まさにそ

## 医療法人社団 正風会

理事長 石井 正三



石井脳神経外科・眼科病院

玉川コンタクトレンズセンター

いわき市小名浜林城字塚前3-1 TEL.0246-58-3121(代)

石井 正 記念 石井 医院

デイケアセンター

いわき市配食サービス事業

いわき市小名浜字本町60 TEL.0246-54-5330

石井医院 在宅介護支援事業所

石井正記念石井医院3F TEL.0246-38-8301

小名浜訪問看護ステーション

石井正記念 石井医院2F TEL.0246-54-5802

総合在宅支援センター

石井正記念 石井医院3F TEL.0246-54-5330



介護老人保健施設

天然温泉通所  
リハビリテーション テルメ照島

TEL.0246-62-0034

いしがい村

いしがい村 居宅介護支援事業所

TEL.0246-77-3223

いわき市小名浜町東ノ作164-2

TEL.0246-62-0030

いしがい村訪問リハビリテーション事業所

いしがい村訪問介護事業所



社会福祉法人 正風会 ケアハウス小名浜

いわき市小名浜字本町60-6

TEL.0246-73-0100





●アンリ・ファンタン＝ラトゥール  
「バティニョールのアトリエ」  
1870 年  
204 × 273.5cm  
オルセー美術館（パリ）

バティニョール大通りのマネのアトリエ。絵筆を持って肖像画を描く中央のマネをルノワールやモネ、バジール、ゾラなどが取り囲んでいる。マネ以外全員がきちんとした身なりをしていてあたかも学校のような厳かさがあり、ファンタン＝ラトゥールのマネに対する尊崇の想いが読み取れる

## 心には皺はない

私自身「火曜の男」と思われることは不愉快ではないし、それどころか多少面白くも感じているが、だからといって、肉体的な老いに流されるままに習慣を惰性化する

うした惰性に陥ることを、精神的に老いることを恐れたからであろう。殻を破ってこそ、新しい生命が孵化する。

つもりもない。  
セヴィニエ夫人も言ったではないか。老いても「心には皺はない」のである。

一八六〇年代後半から七〇年初頭に掛けて、パリのモンマルトルの丘の西、バティニョール大通りにあるカフェ・ゲルボワで、『火曜の男』ならぬ「木曜会」という集まりが催されていた。主宰者は後に近代絵画の父とも呼ばれる

るエドゥアール・マネで、当時このカフェのすぐそばに住む常連だった。

「草上の昼食」（一八六三年、サロンに出品して落選しナポレオン三世主宰の「落選展」に展示）、「オランピア」（六五年、サロン出品）で、マネはアカデミックな保守派からは激しく非難されたが、時代の変化に鋭敏で、芸術と社会の近代化を目指そうとしている新しい世代からは大きな称賛を受けた。

彼が通うカフェ・ゲルボワにはそうした若手芸術家たちが足繁く訪れ、マネを囲んで毎夜酒を片手に芸術論議が繰り返された。文学者のブルーストやゾラ、写真家ナダール、

画家のファンタン＝ラトゥール、ドガ、モネ、ルノワール、バジール、版画家デュータンなどである。

意欲的な若者に優しく、金のない彼らにいつも奢（おご）っていたマネであったが、さすがに毎晩では金銭的に厳しいだけでなく、制作のための時間も確保できない。そこで集まりを週に一度、毎週木曜日と定めたのである。

集った若手画家たちは、当初は地名からバティニョール派と称され、普仏戦争を挟んで数年後には印象派と呼ばれることになる。近代絵画の幕開けを告げる、チェスタトンよりも半世紀早い「火曜の男」だった。

## 筆者プロフィール

佐々木 吉晴

ささき・よしはる

1956（昭和31）年宮城県生まれ。東北大学文学部哲学科美学西洋美術史専攻卒業。いわき市在住。1980年、いわき市立美術館建設準備室に勤務、学芸課長、副館長を経て2012年から2021年まで館長。現在、宇都宮美術館館長、斎藤清美術館館長、全国美術館会議理事・災害対策委員長

＜あしたのために 確かな選択＞

## いわき市長選挙



明るい選挙のイメージキャラクター  
「めいすいくん」

投票日：9月7日（日）

投票は朝7時から  
出かける前にまず投票！

※ 投票所は、午後7時（一部投票所は午後6時）に終了となります。  
忘れずに投票しましょう！

### ＜期日前投票＞

投票日当日に投票所に行けない場合には期日前投票をご利用ください。

期日前投票は9月1日（月）から9月6日（土）まで。

### お問い合わせ

いわき市選挙管理委員会

いわき市明るい選挙推進協議会

Tel.0246-22-7532